

子どもミライ学習 ワークショップ編



子どもミライワークショップの手引き



目 次

1. ワークショップとは？	1
2. ワークショップのメリット	1
3. ワークショップのルール	1
4. ワークショップの進め方	
(1) 事前準備	2
(2) ワークショップの進め方	
①ワークショップの概要説明	3
(3) ワークショップ「新商品プランを考えよう」	
①私のアイデア紹介	3
②新商品の方向性を決める	3
③販売する人の仮説を立てる	5
④購入する人の願望を想像する	6
⑤アイデアを考える（ステップ1）	7
⑥アイデアを考える（ステップ2）	8
⑦アイデアを分類してまとめる	9
⑧商品のテーマを決める	11
(4) ワークショップ「新商品企画書を作成しよう」	
①新商品企画書に具体性をもたせよう	13
(5) 新商品企画書を発表しよう	
①グループでの成果を伝えよう	16
(6) クラスを代表する新商品企画書を選抜しよう	
①新商品企画書を評価しよう	16

タイムスケジュール

【ワークショップ 1 回目】（110 分）

内容	ワーク	所要時間	トータル	開始時刻	終了時刻
◆ワークショップの進め方	説明	5 分	5 分	:	:
◆「新商品プランを考えよう」 ①私のアイデア紹介	グループワーク	10 分	15 分	:	:
②新商品の方向性を決める	グループワーク	10 分	25 分	:	:
③販売する人の仮説を立てる	グループワーク	10 分	35 分	:	:
④購入する人の願望を想像する	ペアワーク	5 分	50 分	:	:
	グループワーク	10 分			
休 憩		10 分	60 分	:	:
⑤アイデアを考える ステップ 1	ペアワーク	5 分	80 分	:	:
	ペアワーク (グループ全体)	15 分			
⑥アイデアを考える ステップ 2	ペアワーク	15 分	95 分	:	:
⑦アイデアを分類してまとめる	グループワーク	15 分	110 分	:	:

【ワークショップ 2 回目】（110 分）

内容	ワーク	所要時間	トータル	開始時刻	終了時刻
◆前回のワークショップの振り返り	説明	10 分	10 分	:	:
◆「新商品プランを考えよう」 ⑧商品のテーマを決める	グループワーク	20 分	30 分	:	:
◆「新商品企画書を作成しよう」 ・イメージの共有とアイデアの具体化 ・役割分担の決定 ・新商品企画書作成 ・グループ内発表 ・発表用の模造紙作成	グループワーク	10 分	75 分	:	:
	グループワーク	5 分		:	:
	個人（ペア）ワーク	10 分		:	:
	グループワーク	5 分		:	:
	グループワーク	15 分		:	:
◆新商品企画書を発表しよう ・グループ発表 ・講評	1 班 発表 3 分 講評 2 分	30 分	105 分	:	:
	2 班 発表 3 分 講評 2 分			:	:
	3 班 発表 3 分 講評 2 分			:	:
	4 班 発表 3 分 講評 2 分			:	:
	5 班 発表 3 分 講評 2 分			:	:
	6 班 発表 3 分 講評 2 分			:	:
◆クラスを代表する新商品企画書を選抜しよう	全体	5 分	110 分	:	:

※休憩は、「新商品企画書を作成しよう」の途中で、進み具合にあわせてグループ単位でとりましょう

1. ワークショップとは？

「ワークショップ」とは、学びや創造、問題解決などに用いられる手法です。参加者がグループを形成して、自発的に発言や作業ができる環境を整理し、司会進行役（ファシリテーター）を中心に、参加者全員が体験するものとして運営されます。

今回の学習では、「新商品プランを考える」ことを目的として、個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に展開するスタイルで運営していきます。まずは様々なアイデアを出し合い、それを整理しながら集約してアイデアを進化させ、最終的には「新商品企画書」としてまとめていく作業を実施していきます。

それまでの概念にとらわれず、自由な発想で積極的に意見を言うことを心掛けましょう。そして、円滑にワークショップを進め、これまでにないような新商品を開発してみましょう。



2. ワークショップのメリット

これまでの授業のように一方的に話を聴くスクール形式とは違い、参加者自身が考えるワークショップでは、発見や気づきを自ら得ることになり、これが最大のメリットとなります。人から言われたことより、自分で気づいたことの方が後々の行動に影響を与えるものとなり、積極的な参加が、より大きなメリットを生み出すことになるでしょう。

また、参加者同士が活発に意見交換するので、相互理解が深まるのもワークショップのメリットです。ふだんは積極的に意見を言わないような人や、そういった機会のない人にとって、貴重な体験となります。



3. ワークショップのルール

ワークショップを実施するにあたり、参加者が必ず守らなくてはならないルールがあります。ルールを守って円滑なワークショップの運営を心掛けましょう。

- ①ワークショップ楽しむ
- ②他の人の意見を否定しない
- ③発言は簡潔明瞭に時間短縮（時間厳守）
- ④必ず発言をする（書く）



4. ワークショップの進め方

(1) 事前準備

事前準備として次の項目については、ワークショップを実施するまでに準備を整えて臨みましょう。

- ・クラス単位で新商品開発をする地域資源をあらかじめ決めておきましょう。
- ・各自で活用する地域資源の「新商品アイデアシート」を作成しましょう。
- ・各クラスで6人のグループを編成しておきましょう。
- ・グループの役割分担を決めておきましょう

(進行役1名、書記2名、庶務1名、タイムキーパー1名、発表者1名)

進行役・・・ファシリテーターの指示に従いグループワークを進行する
書 記・・・模造紙の作成やグループ内で話し合ったことをメモする
庶 務・・・ファシリテーターの指示に従いグループの庶務を行います
タイムキーパー・・・個人やグループワーク時間の管理を行います
発表者・・・発表の時にグループを代表して説明します



【各担当のポイント】

- ・グループワークで話し合う場合は、進行役が班員へ問いかけしながら確認し、意見をまとめていきましょう。
- ・書記は、グループで話し合った内容をポストイットやワークシートにメモしておき、まとめの時や模造紙作成の時に役立てましょう。
- ・庶務は、使用するポストイットや模造紙、マジックの準備をしましょう。その他、グループ全体のサポート役として他の担当の手伝いも行います。
- ・タイムキーパーは、残時間を確認して伝えるなど円滑運営を管理します。
- ・発表者は、説明する重要な部分を確認して、原稿を作成したりリハーサルするなどして準備し、グループ発表を行います。

(2) ワークショップの進め方

①ワークショップの概要説明 (5 分)

産業能率大学の学生ファシリテーター（進行役）から、これから実施するワークショップについて説明を聞いて、どのように進めていくかを学びましょう。

(3) ワークショップ「新商品プランを考えよう」

①私のアイデア紹介 (10 分)

個人で考えてきた新商品のアイデアをグループ内で発表し、これから考えていくアイデアのヒントとしましょう。

【グループワーク】(10 分)

- ・各個人で考えたアイデアをグループ内で発表します。
- ・発表時間は1人1分程度として簡単に説明します。
- ・全員の発表が終わったら、自分のアイデアをイエローのポストイットに記載して模造紙に貼ります。



②新商品の方向性を決める (10 分)

グループで出たアイデアから、具体的にどのような商品を開発していくかの方向性（ジャンル）を決めましょう。

【グループワーク】(10 分)

- ・①で作成したイエローのポストイットを種類別に分類します。
- ・きっちり分類できない場合は、「〇〇系」のように広い意味合いで1つのグループとしてみます。
- ・分類ができれば、ポストイットを集めて貼り直し、種類別に赤丸で囲みそのジャンルの名前を直接模造紙に書きます。
- ・グループで話し合い、どのような新商品を開発していくか決めます。
- ・決定したジャンルに☆印をつけます。
- ・「〇〇〇の（使った）〇〇〇」のように方向性を明確に赤字で書きます。



アイデアが多いものを選ぶのではなく、直感で決めてみよう！



私はこれにしたい



これがイイと思うよ



ここでは、例として「ブルーベリーを使ったスイーツの新商品」を開発するという方向性を決めました。

「〇〇〇の（使った）〇〇〇」のように書いておきます。より具体的に書いても問題はありませんので、ジャンルの前に言葉を足すことにも挑戦してみましょう。

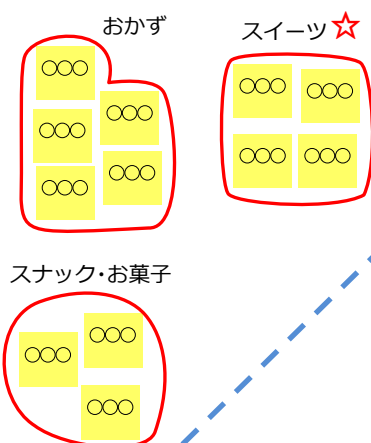
例：びっくりスイーツ あっさりスイーツ 甘くないスイーツ

<模造紙1の記載例>

地域資源：ブルーベリー

方向性

ブルーベリーを使ったスイーツ



模造紙は、大きく3分割して使いましょう。

「地域資源」や「班」は、あらかじめ書いておくといいわね。



③販売する人の仮説を立てる（10分）

誰に販売する（したい）のか、購入する人物像の仮説を立ててみましょう。

【グループワーク】（10分）

- 「人物像の仮説検討ワークシート」を参考に各項目（性別、年齢、食の好み、流行への反応など）についてグループで話し合い、具体的な人物像を想像します。
- 最後に、その人物像に見出しを付けます。
※人物像の見出しは、より具体性を持たせるように心掛けます。

<人物像の仮説検討ワークシートの記載例>

仮説する項目	どんな人物か
【性別】	女性
【年齢】	女子高生、60歳代
【食の好み】	甘いものが大好き、大食い
【流行への反応】	すごく敏感、新しいもの好き
【食べる時】	学校帰り、食後のデザート
【経済力】	お小遣い（月5千円ぐらい）
【身近な人】	親戚のお姉さん

より具体的に仮設して、人物像の気持ちを想像しやすくしてみよう！
身近な人が思い浮かべられればばっちりだね♪



④購入する人の願望を想像する（15分）

購入するとこんなメリットある、購入意欲を掻き立てられるなど、購入者の気持ちになって、「こんな商品がいい（欲しい）」を想像してみましょう。

【ペアワーク（2人で1組）】（5分）

- ・左隣り人と2人でイエローのポストイットに3つ以上の「〇〇できる商品（したい・したくなる）」を記入して模造紙に貼る。

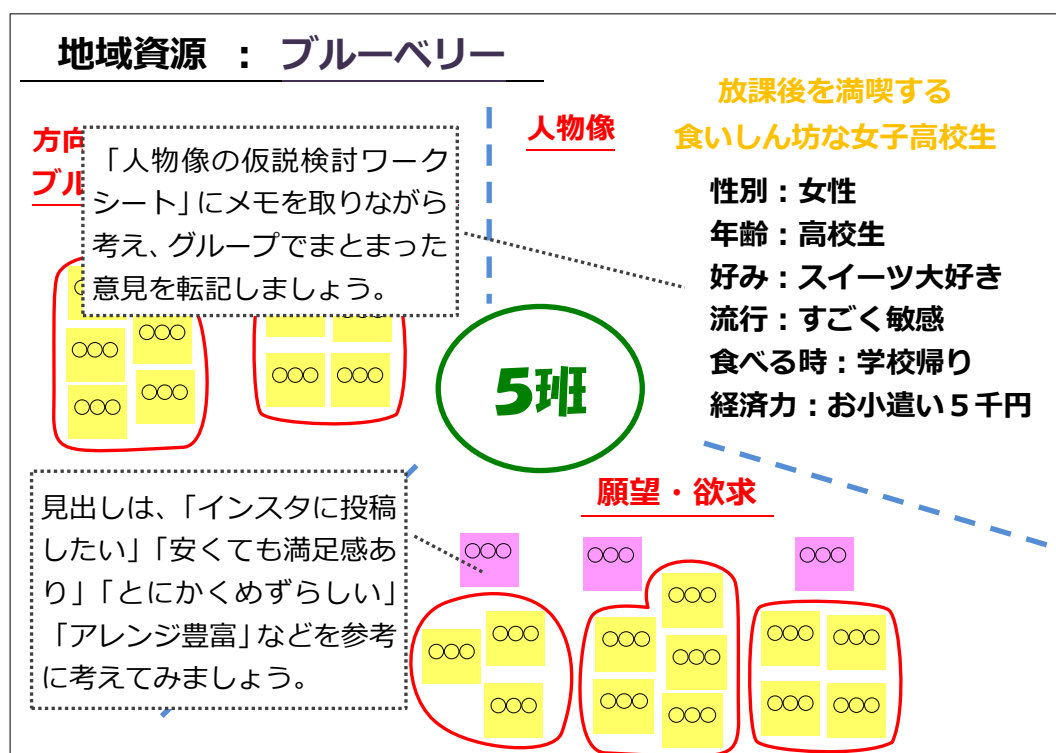
【グループワーク】（10分）

- ・ペアで考えた案を似たような気持ちでグループに分けて分類する。
- ・分類したら、それぞれの気持ちを見出しとしてピンクのポストイットに記入して貼り付け、グループとして赤字で囲む。

<見出しの例>

「インスタに投稿したい」「安くても満足感あり」「とにかくめずらしい」「アレンジ豊富」「変わった味が新感覚」「和菓子が好き」など

<模造紙1の記載例>



⑤アイデアを考える（ステップ1）（20分）

まずは、④の見出しを一つ選び、その願望・欲求を満たすためにどんな商品にするのが良いかをペアで考えてみましょう。次に、グループ内をペアでリレーしながらアイデアを書き、連想ゲームのようにアイデアを発展させましょう。最後に、手元に戻ったシートの中で良いアイデアを選択しましょう。

【ペアワーク（2人で1組）】（5分）

- ・左隣り人と2人で④の見出しを一つ選び、「アイデア連想シート」へその願望・欲求を満たすためにどんな商品にするのが良いか2つ考えます。
- ※テーマを書き入れ、「1」の「A案」「B案」の欄へ記入

【ペアワーク（グループ全体）】（15分）

- ・左のペアハシートを回してアイデアを記入してもらいます。（5分以内）
- ・必ず1つは記入することとしますが、時間内で書けるだけ記入します。
- ・リレー形式で繰り返し、全ペアにアイデアを書き入れてもらいます。
- ・これまで書かれたアイデアを継承するアイデアが浮かばなかった場合は、自分の書く欄上の「↓」に×を付け新たなアイデアを記入します。
- ・手元に戻ってきたシートに書いてある内容で良いアイデアと思えるものに☆印を付け、グリーンのポストイットに書いておきます。

<アイデア連想シートの記載例>

No.	A 案	B 案
1	めずらしさを追求してこれまでにない食べ方をする	今の流行を取り入れてアレンジスイーツにする
2	スイーツだけどちょっと塩気のある味付けにする ☆	トッピングでいろいろな食べ方ができる
3	塩気があるならどら焼きや大福との相性がいい	トッピングは別売りにして種類をたくさん用意する
4	和スイーツに洋スイーツの要素もプラスしてみたい	トッピングも地元産の果樹を活用してみたい
5	ヨーグルトやクリームチーズも使ってみたい ☆	ドライフルーツを使って粉末や細かく砕いて利用。 ☆
6	とにかく大きい商品とすることでインパクトを強く ☆	他の食材を使ってもシリーズ化していける ☆

アイデアは、変形や付け加えで考えてみよう！
ひと言でもいいから空欄にしないでね♪



⑥アイデアを考える（ステップ2）（15分）

特産品を使った新商品の常識を逆転の発想で正反対にした場合を考え、それを実現できるようにするためのアイデアを考えてみましょう。常識にとらわれず、素直な気持ちで自由に発想し、斬新なアイデアを考えてみましょう。

【ペアワーク（2人で1組）】（15分）

- ・テーマは、新商品の方向性を設定します。
- ・左隣り人と2人で「逆転の発想シート」にまずは常識と思えることを記入し、「常識を逆転」として正反対と思えることを設定します。
- ・逆転した発想を実現するためにどのような問題点があるのか、解決する方法は何かを考え「問題点→解決法」へ記入します。
- ・解決策に対応できるアイデアを発想し、「アイデア」に記入します。
- ・最後に、良いアイデアと思う案に☆印を付け、グリーンのポストイットに書いておきます。

<逆転の発想シートの記載例>

方向性：「ブルーベリーを使ったスイーツの新商品」

常識	常識を逆転	問題点（→解決策）	アイデア
甘い	甘くない	本来甘いもの →ほんのり塩 味にしてみる	梅干しのよう にして使って みる
洋風	和風	和菓子の定番 はあんこ →あんこに混 ぜてしまう	☆ 粒あんの粒を ブルーベリー にしてみる
素材をそのま ま利用	加工品になっ たものを利用	素材に手を加 えたもの	☆ ドライフルーツ を利用する
定番の味	意外な味	通常では定番 の味になって いる →味を極端に 変える	☆ もっと酸味を 利かせた使い 方にする

解決策をそのまま
アイデアとしても
大丈夫です♪
1つにこだわり過
ぎずに数で勝負！



⑦アイデアを分類してまとめる（15分）

「アイデアを考える」で作成したグリーンのポストイットのグループ分けを行います。仮説した人物像の気持ちになって出し合ったアイデアを整理してみましょう。分類した各グループには、それぞれ見出しを付けてみましょう。

【グループワーク】（15分）

- 仮説した人物像の気持ちになって、どんな「〇〇できる（したい・したくなる）商品」なのかを考え、似たようなアイデアをできるだけ細かく分類します。
- グループ分けした島の見出しを考えます。ポストイットに書いてある内容を集約してまとめると、どのような特徴を持った商品なのかを考えます。
- 見出しは、特に特徴的な部分を強調し、語尾を「スイーツ」などのジャンル名にすると良い。
- 島の見出しは、ブルーのポストイットに記入して貼り付けます。

<見出し例>

「和洋折衷スイーツ」「甘辛なスイーツ」「ビジュアルスイーツ」

「変幻自在スイーツ」「おつまみスイーツ」「刺激的なスイーツ」など

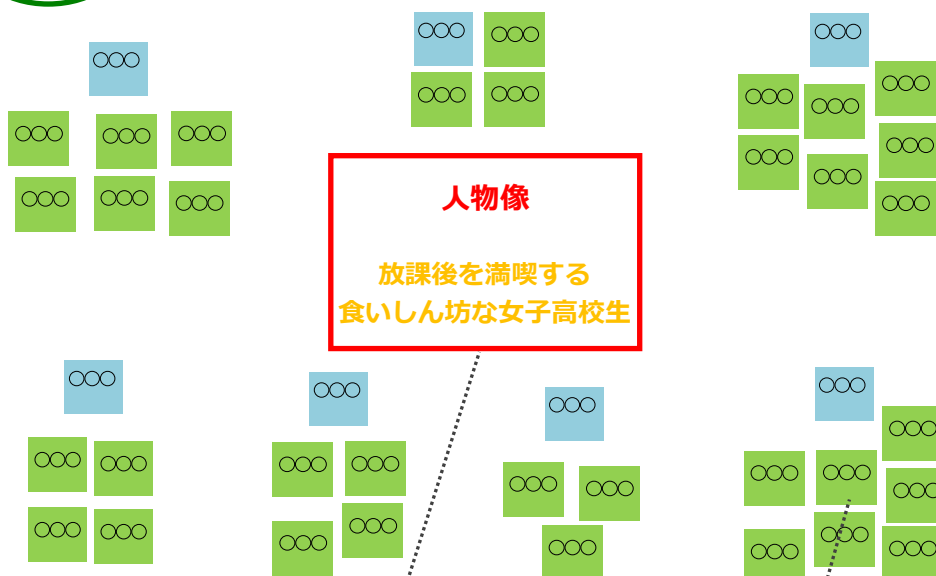


島の見出し = キーワード + ジャンル名

<模造紙2の記載例>

5班

テーマ :



仮説した人物を想像しやすいように、中央に「人物像」を記載して赤枠で囲んでおきましょう。

今回の作業では分類するまでです。後で貼り直すこととなるので、概ねまとめていけば大丈夫です。

1人が1つのグリーンのポストイットを出して、班員が持っているアイデアで同じようなものがあるか確認して集めると作業が早く進むよ！



これと同じのある？



私は集めて貼るわ



見出し考えてみる！



ポイント

チームワークが

重要！

⑧商品のテーマを決める（20分）

⑦で考えた商品の特徴を、その内容から大きく3つに分類します。次に、主役、補助、機能をどのように組合せた商品が良いか考えてみましょう。

【グループワーク】（20分）

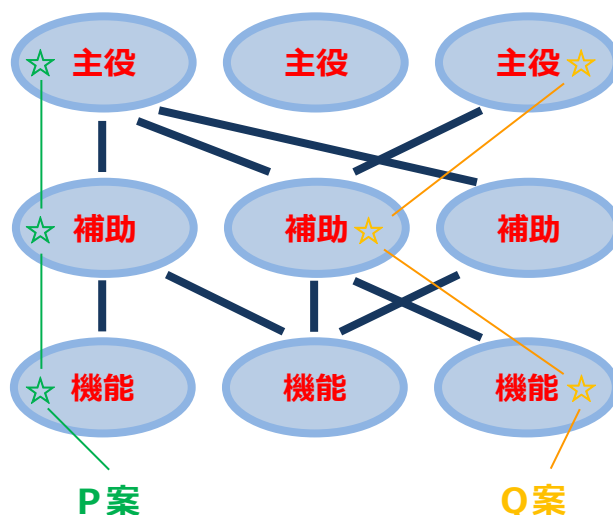
- まず、グループで話し合い、商品の特徴「主役」、「補助」、「機能」に分類して、[ブルーのポストイット](#)へ「主役」は「主」、「補助」は「補」、「機能」は「機」と書き加えておきます。

主役：自信を持って自慢できる特徴を持っているもの

補助：主役とは言えないが、組み合わせることにより効果を生むもの

機能：単純に機能などの付加価値を向上させる可能性があるもの

- 次に、この「主役」の時にはどの「補助」の組合せが良いか、これらの組合せの時にどのような「機能」を追加するかを考えます。
- 2つ組み合わせを考え、それぞれP案、Q案とします。
- P案、Q案に分かりやすいテーマをつけます。
※テーマは、特に強調したい特徴的な部分を並べ、語尾をジャンル名にするとわかりやすい表現になる。
- 模造紙に貼ってあるグループごとのポストイットを移動させ、組み合わせごとに整理します。
- グループで話し合い、最終的な2案から1案に絞り込み☆印を書きます。
- 最終案が決定したら、上部に大きく赤字でテーマを書きます。



組合せは自由自在！

まず、この主役だったらこの組み合わせというように、主役→補助→機能の順に仮定してみると、良い案が見つかりやすいよ♪





語呂の良いキャッチフレーズ



テーマ?
組合せは?
何が特徴?

とにかくつなげてみよう!

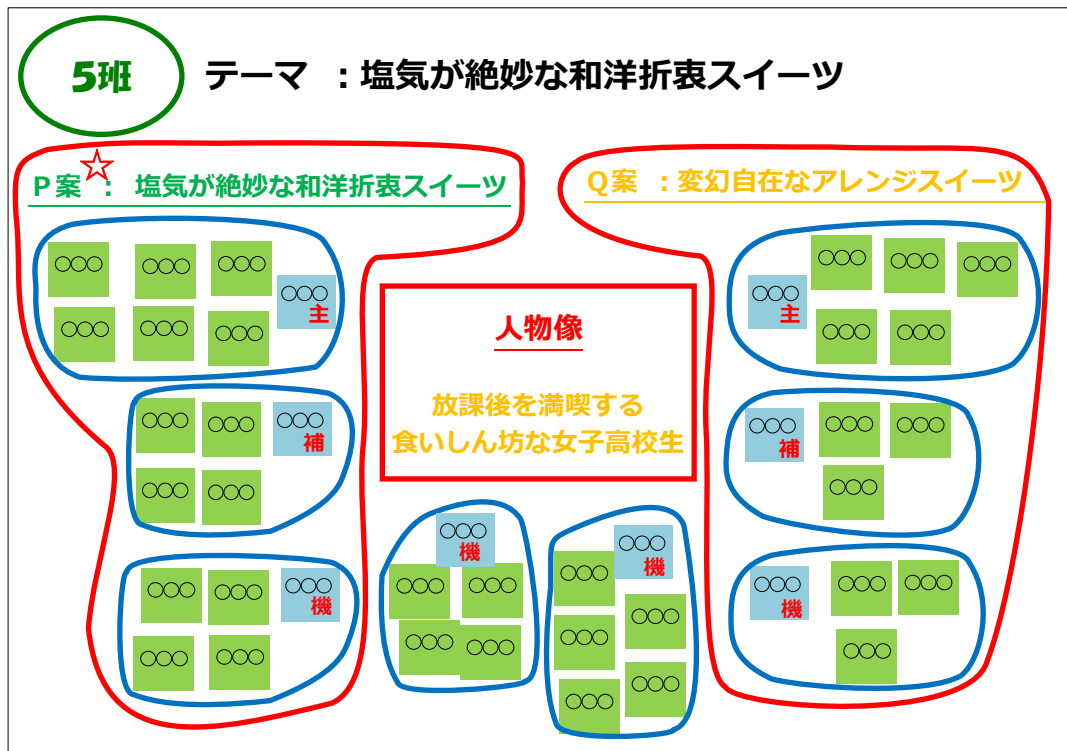


意味が通れば大成功ね♪

ヒント

テーマ = キーワード + 特徴 + ジャンル名

<模造紙2の記載例>



(4) ワークショップ「新商品企画書を作成しよう」

①新商品企画書に具体性をもたせよう (45 分)

まずは、グループ内で決定したテーマの新商品がどのようなものなのか意見を出し合い、より具体的なイメージを考えてみましょう。そして、「新商品企画書シート」の各項目を考える役割分担を決め、それぞれ考えた内容をより具体的に書き込んでみましょう。グループで新商品企画書を完成させ、発表の準備を整えましょう。

【グループワーク】(45 分)

- ・最終案のテーマを基に新商品をどのようなものにするか、お互いに意見を出し合ってイメージを共有しながら、より具体的なものとしていきましょう。「新商品企画書シート」を活用して、共感できたことや気になったことは、メモに取っておきます。いいアイデアが思い浮かんだ時などは、積極的に発言して自分のシートへも書き込んでおきます。(10 分)
- ・全体のイメージが共有できたら、役割分担を決めます。(5 分)

<役割分担>

新商品名 (1 人) : 新商品の名前を考えます。

販売金額 (1 人) : 実際に販売する金額を考えます。

新商品の特徴 (2 人) : この商品の特徴やPRポイントをまとめます。

スケッチ : (2 人) : 新商品の材料や特徴、大きさ、パッケージ、ポイントなど、新商品のイメージスケッチを書きます。

※5人のグループは2人で担当する役割を1人にして調整する

- ・各自で役割分担した部分の「新商品企画書シート」を作成する。(10 分)
- ・各担当が「新商品企画書シート」をまとめ終えたら、グループ内で発表してグループで最終的なまとめを行います。(5 分)
- ・グループのまとめが終わったら発表用の模造紙を作成します。(15 分)
- ・この時間を活用して、発表者は発表の準備を行います。発表のポイントを整理し、発表用の資料を用意してリハーサルします。

<発表のポイント(順序)>

人物像・・・どんな人に販売することを想定したのか

テーマ・・・どのような願望や欲求をみたすための商品なのか

新商品の特徴・・・味、形、材料などどんな特徴をもつ商品なのか

金額の設定・・・なんでこの金額を設定したのか

新商品の名前・・・どのように名前を考えたのか

<新商品企画書シートの記載例>

新商品名	A m a k a r a ハーモニー ベリ・ベリ・ベリー
------	-------------------------------

解説：甘辛をアルファベットにしておしゃれ感を表現。和洋が融合していることを「ハーモニー」。Very(極めて、とっても)、Belly(膨らんだ部分・食欲)、BlueBerry(ブルーベリー)の意味で語呂良く繋げて表現。

テーマ	塩気が絶妙な和洋折衷スイーツ
-----	----------------

人物像	放課後を満喫する食いしん坊な女子高校生
-----	---------------------

販売金額	350 円	ボリュームの割に安めに設定でお得感。安くも高くも感じさせない。
------	-------	---------------------------------

解説：女子高校生でも買いやすい値段設定としています。ちょっと大きめの割に値段が安ければお得感を感じてもらえる可能性は高い。

新商品の特徴	主役：甘辛／補助：和洋折衷／機能：加工した素材 ブルーベリーを梅干しのようにしたものを入れたパンケーキ生地。甘辛に味付けしたブルーベリーの粒入りの餡子の中にレアチーズを入れる。どら焼きのように餡を挟む。
--------	--

解説：甘い味のスイーツは食べ慣れていない分めずかしい。和テイストのものに洋のテイストを融合させ、意外性を向上させる。変わった加工を施した素材を利用したかったので、パンケーキの生地に練りこむことにした。大きな3つの要素を上手に組み合わせることで、これまでにない商品を開発した。また、ブルーベリーやあんこと相性のいいクリームチーズも追加することとし、より洋風となるように意識した。

スケッチ	
------	--

※新商品企画書シートのスケッチ欄は下書き用として利用します



商品の名前を考える時のポイント！

- ・単語に複数の意味を持たせる
- ・複数のキーワードの組合せ
- ・外国語に置換
- ・頭文字の組合せ
- ・語呂合わせ
- ・文字の入替
- ・言葉の響き

使えるアイデアは詰め込めるだけ詰め込んでみよう♪

重要なのはPRのポイントを強調することだよ！



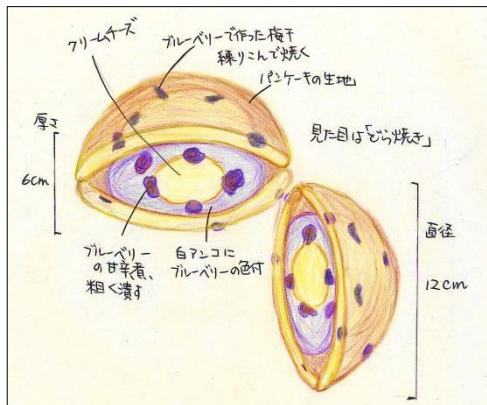
<発表用模造紙の記載例>

5班

新商品名 : Amakara ハーモニー ベリ・ベリ・ベリー

テーマ : 塩気が絶妙な和洋折衷スイーツ

人物像 : 放課後を満喫する食いしん坊な女子高校生



主役 : 甘辛なスイーツ

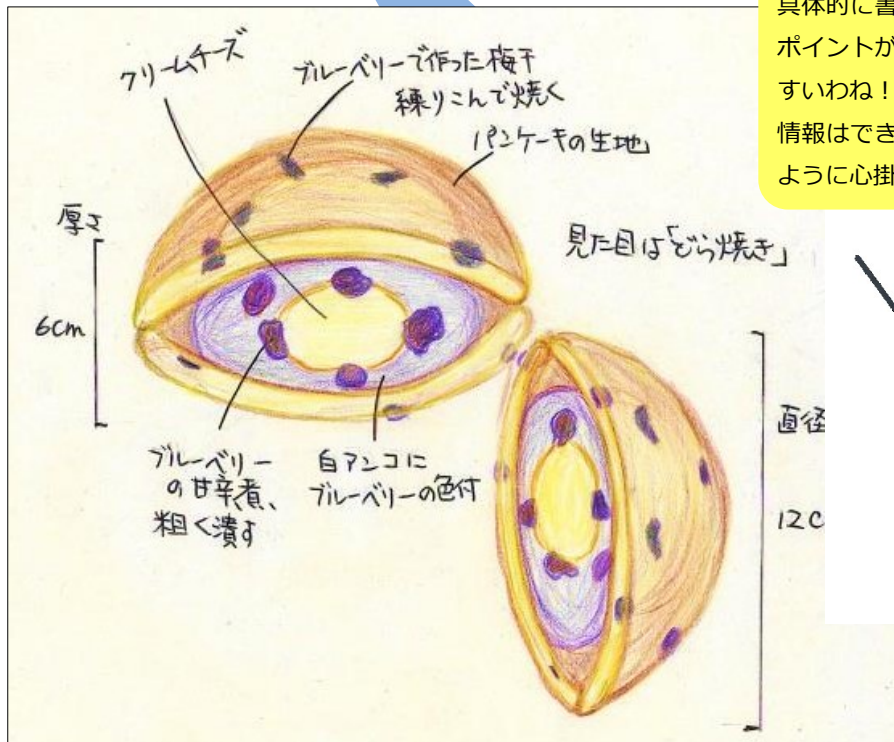
補助 : 和洋折衷のスイーツ

機能 : 加工した素材を使ったスイーツ

ポイント

- ちょっとの塩気で甘さを増す
- 流行のパンケーキ生地を使用
- 見た目も味も和風と洋風の融合
- 相性の良いクリームチーズ入り
- ネーミングに深い意味を含めた

商品の大きさや材料などを具体的に書いておくとPRポイントがとても分かりやすいわね！
情報はできるだけ多くなるように心掛けましょう♪



（５）新商品企画書を発表しよう

①グループでの成果を伝えよう（30分）

グループで作成した「新商品企画書」をクラスみんなに発表してみましょう。

【全体】（30分）

- ・ 班の番号順に発表を行います。1グループの持ち時間は3分です。
- ・ 発表の時は、グループ全員で前に出て発表用模造紙を見せながら発表者が発表します。
- ・ 次に発表する班は、直ぐに発表できるように準備して順番を待ちます。
- ・ グループの発表が終わったら、ファシリテーターから講評をもらいます。



（６）クラスを代表する新商品企画書を選抜しよう

①新商品企画書を評価しよう（5分）

各グループの発表を聞いて、良かった企画に投票します。

【全体】

- ・ ファシリテーターが、班順に良い企画か質問し、良いと思った企画に挙手します。（複数選択可）
- ・ 各班のうち最も評価を受けた班の企画書をクラスの代表とします。





かすみがうら市

学校名

氏名

中学校	
-----	--

企画・編集：かすみがうら市地方創生・事業推進担当

発行：平成 29 年 11 月